

推進方策1 高齢者の住まいの充実と介護サービス提供基盤の整備

- ▶ おおむね計画通りに整備できているが、工期の延長により開設が遅れた事業所や年度途中で法人都合により閉鎖する事業所があった。また、公募を行ったものの募集がないものもあったため、一部で目標を下回った。

1 介護サービス提供基盤の整備

(単位：床)

	実績値 (R元年度)		計画値 (R元年度)
		計画比	
介護保険施設			
特別養護老人ホーム			
内 広域型	0	—	0
内 地域密着型	29	100.0%	29
認知症高齢者グループホーム	18	100.0%	18
指定特定施設			
内 広域型	50	100.0%	50
内 地域密着型	0	—	0

2 その他の地域密着型サービス事業所の計画的な整備

(単位：か所)

	実績値 (R元年度)		計画値 (R元年度)
		計画比	
(看護)小規模多機能型居宅介護事業所	25	92.6%	27
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	8	88.9%	9

※累計事業所数

3 短期入所生活介護事業所の計画的な整備

(単位：人)

	実績値 (R元年度)		計画値 (R元年度)
		計画比	
短期入所生活介護事業所	676	97.1%	696

※累計定員数

推進方策2 介護保険事業その他関連事業の推進

1 適正な介護サービス水準を確保する取組

- ▶ 年1回の認定調査員研修の他、認定調査員の新規採用に合わせて実施した。
- ▶ ケアプラン点検は、計画通り実施できたが、今後点検割合の増加に向け、点検体制を強化する必要がある。
- ▶ 縦覧点検と医療情報の突合、給付費通知は計画通り実施できた。しかし、福祉用具貸与等の事業者に対する研修会は新型コロナウイルス感染症対策の観点から開催を見送り、資料配布のみとなった。

① 要支援・要介護認定の質の維持

	実績値 (R元年度)		計画値 (R元年度)
		計画比	
調査体制の維持（調査員を対象とする研修の実施回数）	3回	150.0%	2回

② 保険給付の適正化（介護給付適正化計画）

	実績値 (R元年度)		計画値 (R元年度)
		計画比	
ケアプラン点検の強化（点検を行う対象事業所数）	2か所	100.0%	2か所
縦覧点検と医療情報の突合（点検から過誤調整等に至る一連の実施回数）	12回	100.0%	12回
給付費通知による利用者向け啓発	4回	133.3%	3回
福祉用具貸与や特定用具販売、住宅改修事業者に対する研修会の実施（研修会の実施回数）	0回	0.0%	1回

2 介護保険料の収納体制を強化する取組

- ▶ 収納率向上対策は、年金法の改正により特別徴収対象者が増加したほか、電話催告や納付指導、滞納処分強化等により、計画値を上回った。
- ▶ 今後も介護保険事業の持続可能な運営のために、各取組を実施していく。

① 収納率向上対策の推進

	実績値 (R元年度)		計画値 (R元年度)
		計画比	
第1号被保険者介護保険料の現年（普通徴収）収納率	88.43%	102.82%	86.00%
第1号被保険者介護保険料の滞納繰越収納率	20.81%	118.91%	17.50%

推進方策3 住み慣れた地域で暮らし続けるための支援

- ▶ 自主グループの立ち上げは、市内全域に浸透したため、想定したよりもグループ数が増加せず、計画値と比較して低くなった。
- ▶ 認知症サポーター養成者数は、計画値を若干下回った。

1 一般介護予防の推進

	実績値 (R元年度)		計画値 (R元年度)
		計画比	
介護予防に取り組む自主グループの立ち上げ支援	465グループ	77.5%	600グループ

2 認知症対策の推進

	実績値 (R元年度)		計画値 (R元年度)
		計画比	
認知症サポーター養成者数	40,039人	91.0%	44,000人